



自然共生研究センター 研究報告会 2004

—第1部 水際環境と水生生物—

—第2部 洪水と河川生態系—

本報告会では2つのテーマを設定しました。

「水際が水生生物に果たす役割」では、水際の植物や形状が魚の生息に与える影響についての研究成果を報告します。

「川の生態系を支える洪水の役割」では、洪水の生態的役割、特に洪水と付着藻類との関係について報告します。

水際の生態的評価や保全・復元方法、洪水攪乱と川の生態に関する基礎的な情報を知りたい方は是非ご参加ください。

名古屋会場：名古屋通信会館・ユニオンホール 名古屋市西区牛島町5番6号

日時 平成16年11月25日(木) 午後1時30分～4時30分

東京会場：発明会館・ホール 東京都港区虎の門2-9-14

日時 平成16年11月26日(金) 午後1時30分～4時30分

●主催 独立行政法人 土木研究所、国土交通省 中部地方整備局

●参加料 **無料** (会場の都合上、数に限りがございますので、誠に勝手ながら先着申込順とさせていただきます。)

URL: <http://www.pwri.go.jp/> <http://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/>



自然共生研究センター
NATURAL COEXISTENCE RESEARCH CENTER
AQUA RESTORATION RESEARCH CENTER

自然共生研究センター 研究報告会 2004

11月25日(木) 名古屋会場：名古屋逓信会館・ユニオンホール

11月26日(金) 東京会場：発明会館・ホール

受付／13:00～ 報告会／13:30～16:30

プログラム

- ◆ あいさつ
- ◆ 概要説明
- ◆ ー第1部 水際環境と水生生物ー
- ◆ ー第2部 川の生態系を支える洪水の役割ー
- ◆ 閉会

プログラムの概要

ー第1部 水際環境と水生生物ー

水際は河川改修等で人為的な改変を受けやすい場所ですが、その生態的機能はよく解っていません。第1部では、水際が魚の生息に与える影響に関する既往の研究を説明した後、実河川で行った水際と魚類の調査結果、そして、水際を人為的に操作して行った実験河川での研究結果を報告します。

ー第2部 川の生態系を支える洪水の役割ー

洪水攪乱は河川の生態系を維持するために不可欠な要素です。第2部では、近年世界的に進みつつある洪水の生態的機能に関する研究を紹介した後、自然共生研究センターで実施した幾つかの研究結果を報告します。特に、洪水と付着藻類との関係について詳しい報告を行います。

ご参加される方々について

専門用語をできるだけ使用せず、一般の方々にも理解しやすい内容となっています。専門家は勿論、一般の方々も奮ってご参加下さい。

会場案内図



名古屋逓信会館

〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番6号
TEL.052-551-5111

- 会場までの公共交通機関
- 地下鉄東山線・桜通線「名古屋」駅下車
10番出口より徒歩3分
- 市バス名駅系統「名古屋駅」下車
徒歩5分
- JR東海・近鉄名古屋駅下車
徒歩8分
- 名鉄新名古屋駅下車
徒歩8分



発明会館

〒105-0001 東京都港区虎の門2-9-14
TEL.03-3502-5499

- 会場までの公共交通機関
- 地下鉄千代田線「豊ヶ関」駅下車
A13番出口より徒歩10分
- 地下鉄銀座線「虎の門」駅下車
3番出口より徒歩5分

※両会場とも、駐車場がありませんので、自家用車でのご来館はご遠慮下さい。

申し込み用紙

FAX 0586-89-6039

参加を希望する会場に○をご記入の上、本紙をそのまま送信ください。
なお、プログラムは両会場とも同一となっています。

●締切り／名古屋会場・東京会場ともに11月19日(金) (会場の都合上、数に限りがございますので、誠に勝手ながら先着申込順とさせていただきます。)

参加者名	会社名等	名古屋会場	東京会場	連絡先 (TEL等)

●お問い合わせ先

独立行政法人 土木研究所
自然共生研究センター / 岐阜県羽島郡川島町笠田町官有地無番地

※TEL又はEメールの場合は上記内容をお知らせください。

TEL.0586-89-6036
E-mail: kyousei4@pwri.go.jp